

鹿児島県感染症情報

2022年 第22週報 (5月30日~6月5日)

発行：鹿児島県環境保健センター（内容に関するお問い合わせ：健康増進課感染症保健係）

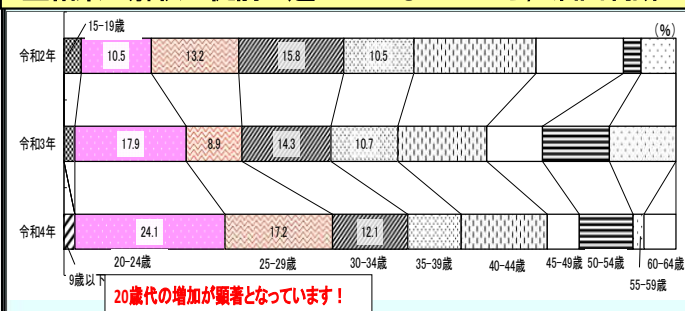
※ 感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>

県内の新型コロナウイルス感染症は、6月5日時点での届出総数は82083例です。新型コロナウイルス感染症は、減少傾向にありますが、ここが一番の正念場です。油断せずに予防対策を徹底してください。

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の下記のポイントを励行してください。①屋外でも距離が確保できない場合（マスク着用推奨）。②屋内で会話がなくても人との距離が確保できない場合（マスク着用：就学前児を除く）。③会食は同一グループ同一テーブル4人以下（テーブル間の移動は控える）。④雨が降っていても、定期的な換気（目安は30分に1回5分程度）。



本県における梅毒の届出数は、6月5日時点で58例となり、令和3年の56例を既に上回りました。梅毒は複雑な進行形態をとる感染症であることから、「偽装の達人」という異名を持っていることと、検査手法が自動化され検査結果の解釈が従前と違っていることから、届出判断に苦慮する感染症のひとつです（本誌2頁下段も参照）。



梅毒抗体検査は梅毒 RPR（以下 RPR）と梅毒 TP 抗体（以下 TP 抗体）の2種類の検査法があります。梅毒の診断はこの2種類の検査法を組み合わせで行うことが望ましいとされており、それらの結果から梅毒に罹患しているかを総合的に判断することになります。しかし近年では RPR よりも先に TP 抗体が陽性となる、または RPR が陰性の例もあり、梅毒を見逃さないために

は RPR、TP 抗体両方を検査することが重要です。梅毒抗体が陰性であっても、問診や症状から梅毒が疑わしい場合には、ウィンドウピリオド（感染後検査で検出できるようになるまでの空白期間）を考慮して2~4週間後に RPR、TP 抗体両方を再検査することが大切です。上図は本県における梅毒の年齢別届出状況です。

第22週の定点報告疾患の報告数をみると、出水保健所の手足口病が3週連続、咽頭結膜熱が2週連続で流行発生警報域です。夏かぜの代表である咽頭結膜熱、手足口病は増加の兆候がみられます。RSウイルス感染症が直近3年この時期より増加しはじめていますので今後の動向に注視してください。

五類感染症(全数報告疾患)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核 5 例（肺結核 1 例、頸部結核性リンパ節炎 1 例、無症状病原体保有者 3 例）
三類感染症	発生報告なし
四類感染症	A 型肝炎 1 例、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）1 例
五類感染症	梅毒 3 例 追加梅毒 1 例：第 20 週
新型コロナウイルス等感染症	新型コロナウイルス感染症 2809 例

☆定点報告疾患の発生状況

- ・今週の定点医療機関は、インフルエンザ定点 91、小児科定点 53 です。（通常より各 1 減）
- ・第 22 週の定点把握対象疾患の総報告数は 633 人で、前週より 49 人多い報告数でした（4 頁参照）。
- ・流行発生警報の基準値（開始基準値及び終息基準値）以上の保健所

【咽頭結膜熱（開始 3.0、終息 1.0）】：出水(1.67)、【手足口病（開始 5.0、終息 2.0）】：出水(7.00)

- ・流行発生注意報の基準値以上の保健所 該当なし

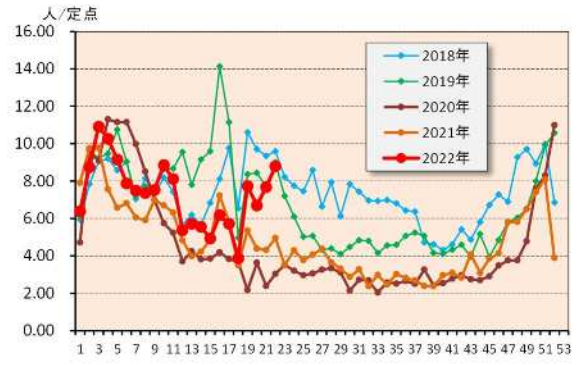
☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第22週の感染性胃腸炎の報告数は466人で、前週より59人多く、定点当たりの報告数は8.79であった。

年齢別では、1歳（80人）、2歳（70人）、3歳（62人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（15.08）、始良保健所（14.17）、鹿屋保健所（12.80）の順に多い。

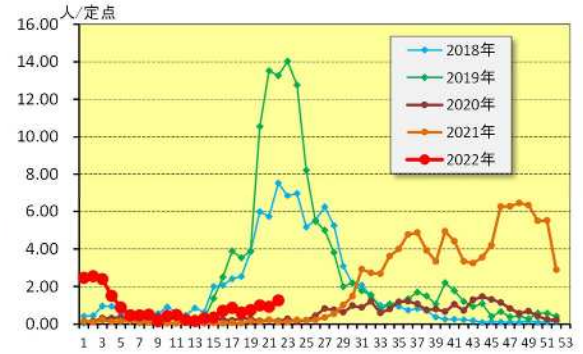


(2) 手足口病

第22週の手足口病の報告数は67人で、前週より18人多く、定点当たりの報告数は1.26であった。

年齢別では、1歳（29人）、2歳（17人）、6～11ヶ月3歳（それぞれ7人）であった。

保健所別の定点当たり報告数は、出水保健所（7.00）、指宿保健所（2.50）、名瀬保健所（2.00）の順に多い。

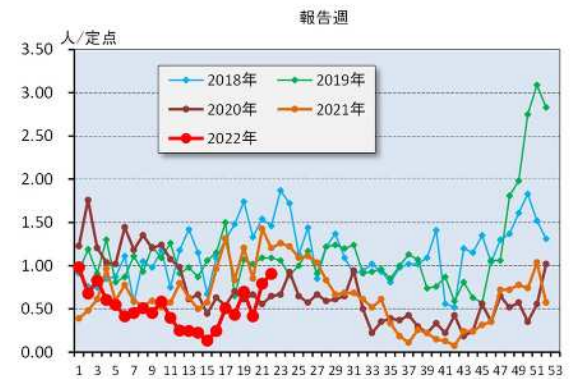


(3) 咽頭結膜熱

第22週の咽頭結膜熱の報告数は48人で、前週より6人多く、定点当たりの報告数は0.91であった。

年齢別では、1歳（28人）、6～11ヶ月（7人）、2歳（5人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、始良保健所（2.17）、川薩健所（1.67）、鹿屋保健所（1.40）の順に多い。



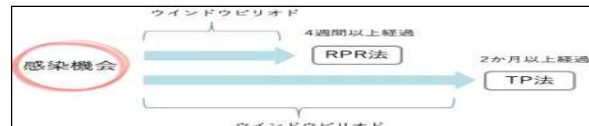
【梅毒関連情報】

血清学的検査は希釈倍率を用いる用手的検査から自動化法へ移行しつつあり、検査結果の解釈にも注意が必要である。従来の希釈倍率法では梅毒感染初期において、まず、RPRが陽性を示すようになり、その後TP抗原法も陽性を示すとされてきた（参考1）。しかし、自動化法では試薬内容や検出法が変更されたため感染成立から陽性を示すまでの空白期間（window period）が短縮されている（参考2）。そのため使用する検査試薬によってはTP抗原法の方が先に陽性を示すこともあり、検査結果の解釈に注意を要する。具体的に述べると、梅毒初期において従来法では[RPR陽性、TP陰性]を示すとされていたが、自動化法ではより早期（従来法では検出できなかった時期）に「RPR陰性、TP陽性」と検出できることがある。これを従来法に当てはめて過去の既感染と判断してはならない。

また従来法では2倍希釈系列での凝集をヒトの目（臨床検査技師一人の目）で判断するため定量性に乏しく、経時変化を追うには限界があった。自動化法は連続する数で結果が示され、経時的な変化を追うのに優れる。

梅毒は、感染機会、特徴的な皮疹、特徴的な血清反応が揃えば診断は難しくないが、実臨床ではすべての条件が揃わない場合も多く、**性感染症診断に精通している医師ですら診断に迷う場合は少なくない**。診断に迷った場合は数週間を置いて経時的な変化を捉えたと診断が可能となることが多く、繰り返しになるが**自動化法を用いて経時的な変化を評価することが重要**である。

1. RPR(+)/TPHA(+) ➡ 梅毒に感染しています。
2. RPR(-)/TPHA(-) ➡ 梅毒に感染していません。
3. RPR(+)/TPHA(-) ➡ 初期の感染の可能性。生物学的偽陽性
4. RPR(-)/TPHA(+) ➡ 梅毒の治療後。TP法の偽陽性

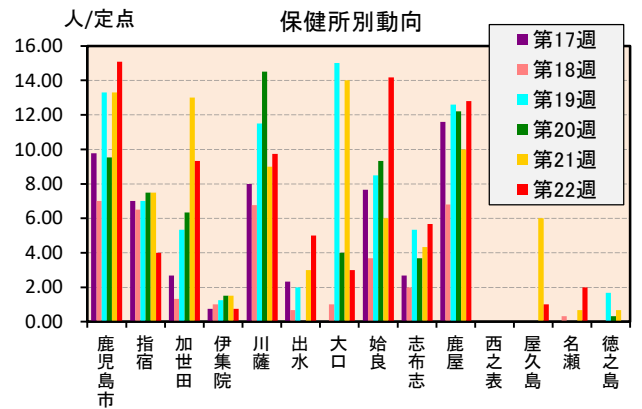
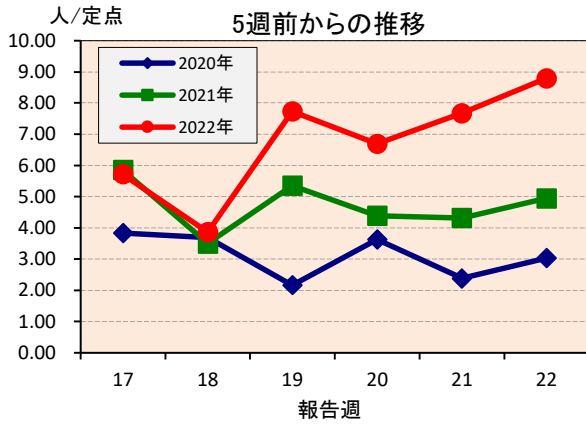


参考1: 従来の検査結果の解釈

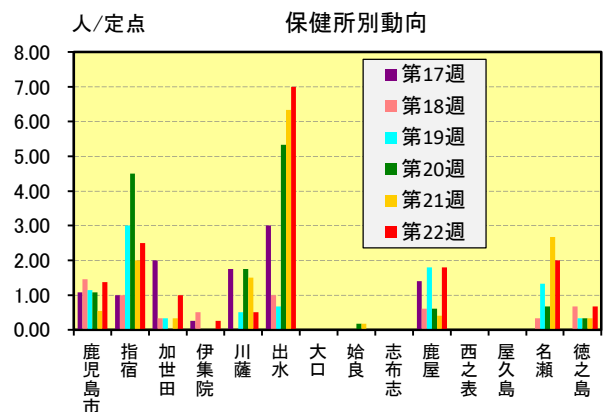
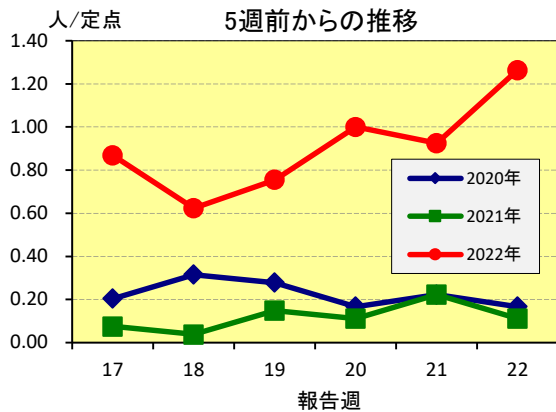
参考2: RPR法とTP法のウインドウピリオド

上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

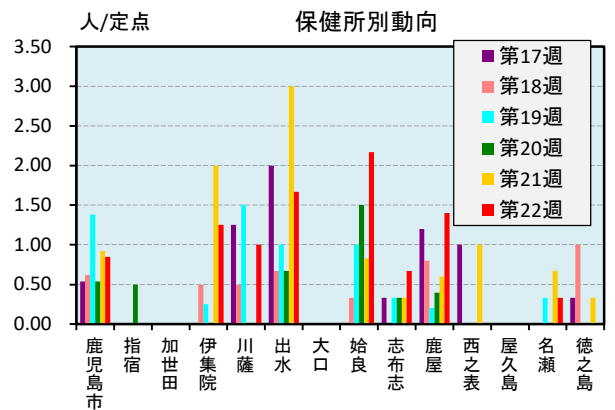
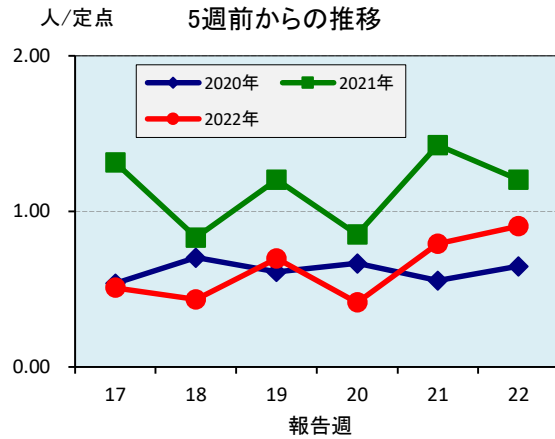
(1) 感染性胃腸炎



(2) 手足口病

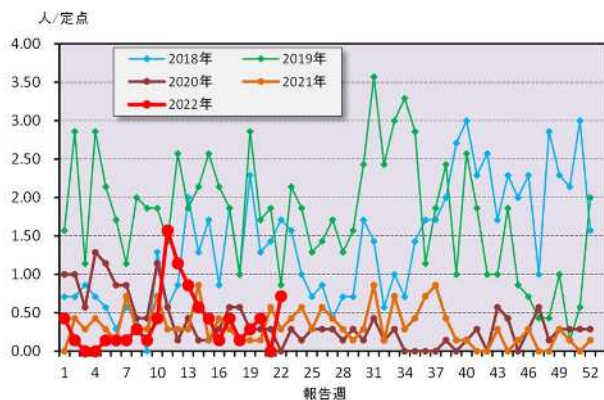


(3) 咽頭結膜熱

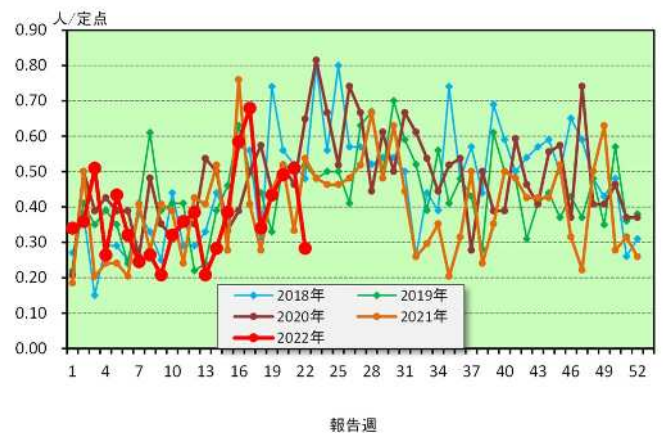


☆注目される感染症の発生状況

★ 流行性角結膜炎 (鹿児島県)



★ 突発性発しん (鹿児島県)



☆定点報告疾患の発生状況

2022年	(報告週)	第22週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2022年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	-	-	11
小児科定点	○ 咽頭結膜熱	48	0.91	599
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	0.23	439
	○ 感染性胃腸炎	466	8.79	8,515
	水痘	3	0.06	111
	○ 手足口病	67	1.26	1,035
	伝染性紅斑	-	-	13
	突発性発しん	15	0.28	434
	ヘルパンギーナ	7	0.13	120
	○ 流行性耳下腺炎	3	0.06	48
	○ RSウイルス感染症	6	0.11	696
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	-
	○ 流行性角結膜炎	5	0.71	60
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	2
	無菌性髄膜炎	1	0.08	6
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	2
報告数合計		633	0	12,091

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

	5週前 (2022年17週)	4週前 (2022年18週)	3週前 (2022年19週)	2週前 (2022年20週)	1週前 (2022年21週)	今週 (2022年22週)
インフルエンザ	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -
RSウイルス感染症	報告数 3 定点当り 0.06	報告数 2 定点当り 0.04	報告数 2 定点当り 0.04	報告数 2 定点当り 0.04	報告数 5 定点当り 0.09	報告数 6 定点当り 0.11
咽頭結膜熱	報告数 27 定点当り 0.51	報告数 23 定点当り 0.43	報告数 37 定点当り 0.70	報告数 22 定点当り 0.42	報告数 42 定点当り 0.79	報告数 48 定点当り 0.91
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 14 定点当り 0.26	報告数 6 定点当り 0.11	報告数 12 定点当り 0.23	報告数 12 定点当り 0.23	報告数 38 定点当り 0.72	報告数 12 定点当り 0.23
感染性胃腸炎	報告数 303 定点当り 5.72	報告数 205 定点当り 3.87	報告数 410 定点当り 7.74	報告数 355 定点当り 6.70	報告数 407 定点当り 7.68	報告数 466 定点当り 8.79
水痘	報告数 4 定点当り 0.08	報告数 4 定点当り 0.08	報告数 5 定点当り 0.09	報告数 2 定点当り 0.04	報告数 3 定点当り 0.06	報告数 3 定点当り 0.06
手足口病	報告数 46 定点当り 0.87	報告数 33 定点当り 0.62	報告数 40 定点当り 0.75	報告数 53 定点当り 1.00	報告数 49 定点当り 0.92	報告数 67 定点当り 1.26
伝染性紅斑	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 1 定点当り 0.02	報告数 - 定点当り -
突発性発しん	報告数 36 定点当り 0.68	報告数 18 定点当り 0.34	報告数 23 定点当り 0.43	報告数 26 定点当り 0.49	報告数 27 定点当り 0.51	報告数 15 定点当り 0.28
ヘルパンギーナ	報告数 8 定点当り 0.15	報告数 7 定点当り 0.13	報告数 6 定点当り 0.11	報告数 11 定点当り 0.21	報告数 9 定点当り 0.17	報告数 7 定点当り 0.13
流行性耳下腺炎	報告数 5 定点当り 0.09	報告数 3 定点当り 0.06	報告数 1 定点当り 0.02	報告数 4 定点当り 0.08	報告数 2 定点当り 0.04	報告数 3 定点当り 0.06
急性出血性結膜炎	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -
流行性角結膜炎	報告数 3 定点当り 0.43	報告数 1 定点当り 0.14	報告数 2 定点当り 0.29	報告数 3 定点当り 0.43	報告数 - 定点当り -	報告数 5 定点当り 0.71
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -
無菌性髄膜炎	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 1 定点当り 0.08	報告数 1 定点当り 0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -	報告数 - 定点当り -

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2022年22週(05月30日～06月05日)

総数	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
鹿兒島市	-	-	-	-	11	0.85	2	0.15	196	15.08	1	0.08	18	1.38	-	-	5	0.38
指宿	-	-	-	-	-	-	-	-	8	4.00	-	-	5	2.50	-	-	-	-
加世田	-	-	-	-	-	-	-	-	28	9.33	-	-	3	1.00	-	-	1	0.33
伊集院	-	-	-	-	5	1.25	1	0.25	3	0.75	-	-	1	0.25	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	4	1.00	-	-	39	9.75	-	-	2	0.50	-	-	2	0.50
出水	-	-	-	-	5	1.67	3	1.00	15	5.00	1	0.33	21	7.00	-	-	4	1.33
大口	-	-	4	4.00	-	-	-	-	3	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	2	0.33	13	2.17	1	0.17	85	14.17	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	-	-	2	0.67	-	-	17	5.67	1	0.33	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	7	1.40	1	0.20	64	12.80	-	-	9	1.80	-	-	3	0.60
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	1	0.33	4	1.33	6	2.00	-	-	6	2.00	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67	-	-	-	-

総数	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
鹿兒島市	7	0.13	3	0.06	0	0.00	5	0.71	0	0.00	1	0.08	0	0.00	0	0.00	0	0.00
指宿	4	0.31	1	0.08	-	-	2	0.50	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-
加世田	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	1	0.25	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	1	0.33	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	-	-	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-

年齢階級別疾病別患者報告数及び定点当たり報告数（男女合計）

2022年22週(05月30日～06月05日)

(インフルエンザ定点報告疾病) インフルエンザ	合計	年齢階級																				
		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(小児科定点報告疾病) RSウイルス感染症	合計	20歳～																				
報告数	6	1	2	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	0.11	0.02	0.04	0.04	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜炎	48	1	7	28	5	4	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	0.91	0.02	0.13	0.53	0.09	0.08	0.04	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	12	-	1	3	1	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.23	-	0.02	0.06	0.02	0.04	-	0.02	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	466	2	22	80	70	62	47	43	26	16	18	10	50	9	11	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	8.79	0.04	0.42	1.51	1.32	1.17	0.89	0.81	0.49	0.30	0.34	0.19	0.94	0.17	0.21	-	-	-	-	-	-	-
水痘	3	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	0.06	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	67	1	7	29	17	7	1	1	1	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	1.26	0.02	0.13	0.55	0.32	0.13	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	15	-	5	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	0.28	-	0.09	0.13	0.04	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	7	3	1	1	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	0.13	0.06	0.02	0.02	-	-	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	3	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	0.06	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	合計	～5ヶ月																				
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	0.71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～	-	-	-	-	-
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-